



いしかわ労福協

第 598 号 2017年11月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

2018(平成30)年度の 労働者を含む住民の福祉向上などを 各自治体に要請する



小松市 和田慎司市長

石川労福協は、来年度にかかる福祉向上等の要請を10月25日(水)の内灘町を皮切りに26日(木)までに能登方面の全12自治体を訪問したのに続き、31日(火)には、野々市市から加賀市までの6自治体を訪問し、労働者福祉の向上はもとより、セーフティーネットの強化による生活困窮者・生活保護者・ひとり親世帯への

支援を求めた。また、本年からスタートした国の給付型奨学金制度における制度利用枠の拡大への上申の協力を求めた。

さらに、来年度、他団体とともに新たにに取り組む予定のフードバンクネットワーク事業について、食品廃棄の削減だけではなく、子ども食堂などへ提供することで、孤食となりやすいひとり親世帯の子ども、独居老人、生活困窮者

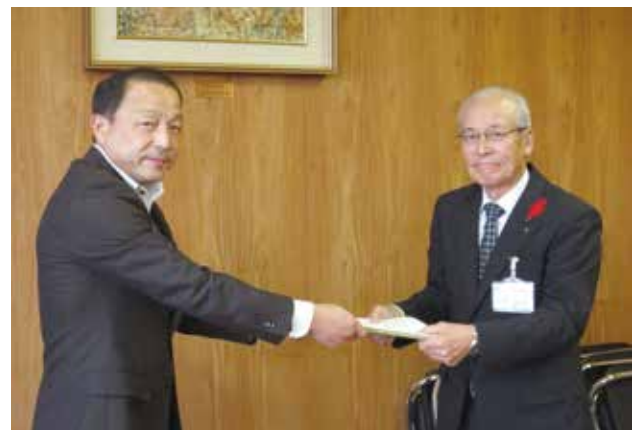
への支援となることを説明し活動への理解と協力を求めた。

訪問した自治体では、一様に労福協が目指す取り組みに理解を示していただいたほか、各自治体での取り組み状況が報告された。

11月29日(水)には金沢市長を、翌30日(木)には石川県知事をそれぞれ訪問し、要請を行う。



加賀市 山下正純副市長



羽咋市 辻角邦昭副市長

第5回理事会



出席役員で開催した。

西田満明理事長は、「来年度の自治体政策に反映していただけるよう、先月末までに石川県と金沢市を除く18自治体に出向き、首長等に対し、『雇用形態の変更により収入減となっている。特に若者が、貧困に陥らないような施策の充実、子ども食堂などに有効活用ができるフードバンク事業への協力など』の要請を行い、理解ある意見も伺えた。また、自主福祉運動についても関係団体の協力で順次取り組まれ、徐々に成果が表れつつあると聞いている。今後とも、労福協事業への協力をお願いする。」と挨拶した後、会議が進められた。

報告事項では、自治体要請行動、第15回福祉グラウンド・ゴルフ大会の結果、第15次日中友好訪問代表団派遣、自主福祉運動の推進、生活底上げ・福祉強化キャンペーン、ライフ・サポートセンター事業などの報告を了承した。

協議事項では、石川労福協第41回研究集会・第14回ライフ・サポートセンター研修会の開催、子育て支援メッセ2017の協賛・出展、大衆運動活動家顕彰会・合祀追悼会の実施、フードバ

労福協は、11月7日(火)フレンドパーク石川において、第5回理事会を16名の

ンクネットワーク準備会への参画などの取り組みについて提案され、いずれも提案どおり承認され、事業年度後半に向け、歩を進めた。

福祉なんでも相談窓口アドバイザー会議



石川労福協は、11月16日(木)フレンドパーク石川において、「第12回福祉なんでも相談窓口アドバイザー会議」を開催した。

この会議は石川県職業能力開発プラザ、いしかわ結婚・子育て支援財団、石川県消費生活支援センター、喜成司法書士事務所、社会法律センターや連合石川、北陸労金、全労済など9団体で相談に対応している13名で構成され、労福協「福祉なんでも相談窓口」における状況報告をはじめ、各団体との情報の共有や交換などの場とすることで、相談活動の充実を図るもので、関係者12名が参加した。

各アドバイザーから、日頃の相談状況・取り組み等について報告された。なかでも、「最近の傾向は相談内容が複雑化・深刻化している。問題解決を図るためのネットワークの強化や連携の重要性がますます高まっている。」と報告された。

意見交換の後、引き続き各団体・各アドバイザー間の連携強化を図り相談活動を展開することとして会議を終えた。

県 LSC 事務局次長 松浦政雄

これからの行事予定

(11月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
11月29日	水	労福協 自治体要請 金沢市長要請	金沢市役所
〃	〃	勤文協 第67回勤労者美術展(～12/3)	金沢勤労者プラザ
30日	木	労福協 自治体要請 石川県知事要請	石川県庁
12月1日	金	連合石川 台南市総工会訪日団歓迎レセプション	金沢市
6日	水	中部会館協議会 第2回幹事会(～7日)	フレンドパーク石川
7日	木	労福協・連合石川・「労金 生活応援セミナー ～多重債務を考える～」	〃
9日	土	さわやかU 餅つきボランティア	清風会「夢工房」
11日	月	労福協・LSC 第14回LSC研修会・第41回研究集会	労済会館
18日	月	自主福祉運動推進会議	フレンドパーク石川
20日	水	労福協 第6回理事会	〃
28日	木	仕事納め(12/29～1/3年末年始休業)	
1月5日	金	連合石川・石川労福協合同「2018新春の集い」	ANAクラウンプラザホテル金沢

子育て支援ネットワーク



子育て支援

労福協・子育て支援ネットワークは、11月12日(日)に石川県産業展示館4号館で開催された「子育て支援メッセ2017」に出展し、子育て支援事業の紹介チラシの配布とサイコロゲームを行った。

サイコロゲームは、予想以上の人気で、サイコロの面に大当たり、当たり、ハズレがあり、転がして出た目でおもちゃ等の景品をプレゼントするもので、子ども達にはとても喜ばれ、午後4時の閉会を待たずに全て終了した。

隣のブースには、北陸労働金庫石川県本部が出展し、教育や住宅などの各種ローンの紹介と相談コーナーを開設するとともに、子どもの手形を採取してのプレゼントは、親子ともども大変人気であった。秋晴れも手伝ってか、会場はたくさんの親子連れで賑わった。

これを期に、ファミリーサポートセンター利用補助制度を知っていただき、今後も、働く子育て世代のお父さん、お母さんへの支援となればと思う。

里山里海活動

さわやかU(いしかわ介護ボランティアセンター)は、10月21日(土)珠洲市唐笠山にて実施する里山里海活動であるクヌギの植林に役員・ボランティアを派遣した。

当日は、NPO 法人奥能登日置来ひきらいの活動に参画して、クヌギ植林を行った。

植林は、珠洲市唐笠山の放棄林地において実施され、珠洲市内の中学生やボランティアなど総勢約50名が参加し、NPOが準備した苗木を

1本1本丁寧にレクチャーどおりに植え、400数十本の植林を終えた。その後、大野製炭場



植林ボランティア

に移動して、クヌギが茶炭となるまでの講義を受け、実際に炭焼き釜を見学した。

さらに、これまで実施した植林地に出向き、製炭用に成長し伐採された切り株から、新たに成長したクヌギを見学し、説明を受けた。

宿泊地となる木ノ浦ビレッジのセミナールームにおいて、約20名がNPO 奥能登日置来が東山中や唐笠山を含む唐笠地区での「炭焼きビレッジ」構想について、熱心に討議し、一連の行事を終えた。

なお、さわやかUからは、久富象二監事、上野貞彦事務局次長、鈴木隆史ボランティアが参加したほか、食とみどり、水NWから亀喜正事務局長が参加した。

海外飢餓支援米を発送

食とみどり、水NW(食とみどり、水を守るいしかわネットワーク)は、11月3日(祝・金)に金沢市内フレンドパーク石川において、海外飢餓支援米の発送式を開催した。



発送式 代表挨拶

西田満明食とみどり、水NW代表が、「今春から県内4カ所において、皆さんとともに育てた稲は、1,050kgの米として収穫できた。この米を海外飢餓支援として、食糧難にあえぐ国の

子ども等に宛てて届けることで役立ててもらいたい。稲作体験とともに食べ物の大切さを体感するこの取り組みに今後もご理解ご協力をいただきたい。」と挨拶した。

続いて、富瀬永石川県議会議員が来賓挨拶をした後、亀喜正事務局長が、今年の取り組みについて報告した。

支援米が入った袋には、稲作に参加した子ども達が書いたメッセージシールを貼り、トラックに積み込み全国各地から寄せられる支援米の集積場所である横浜に向けて発送された。

今回の発送先は、引受先の関係からマリ共和国のみとなる予定。

発送式の後には、収穫した新米で作ったおにぎりとお味噌汁を味わいつつ、一年の取り組みを分かち合うほか、不自由なく食事につけることへ感謝をして、発送式を終えた。

第49回食とみどり、水を守る全国集会



食とみどり49回全国集会

11月17日(金)～18日(土)、熊本市内ホテルを主会場に「第49回食とみどり、水を守る全国集会(食とみどり、水を守る全国集会実行委員会主催)」が開催され、食とみどり、水を守るいしかわネットワークを代表し9名が参加した。

昨年の震災被害を被った熊本市で開催された集会は、全国から777名が参加し、石原富雄全国集会実行委員長の挨拶、来賓等の挨拶に続いて、早速、全体集会におけるシンポジウム「熊本地震の復旧・復興から見えてきた課題」がパネラー3名とコーディネーターとで進められ

た。

初めにパネラーから地震後における状況と問題点について、被害の大きかった益城町の農協支所長の松本和文氏から「人家、農地、農業施設の被災状況、被災者の避難状況などについて、農協職員・地域住民から見ての課題。」を、全水道熊本執行委員の佐藤智弘氏から「阿蘇山の伏流水である地下水が豊富な熊本市における上水道施設の被災状況や昼夜に及ぶ復旧の取り組み、現在も続く地震被害による漏水対策、地震に強い施設への課題。」を、また、熊本日日新聞編集委員の小多崇氏は「地震後の被災地・被災者の取材において、見えてきた課題。」がそれぞれ報告された。

報告に引き続き、食とみどり、水を守る熊本県民会議議長の久保研一氏のコーディネートで、パネラーからの報告課題について掘り下げながら、会場からの意見や質問に対して、パネラーの見解を質した。被災施設などの復旧もさることながら、被災直後における救護・救援活動は、日々の地域における連携が大事であり、被災者の支援や、被害を小さくすることに役立つとし、2時間を超える予定時間は瞬く間に終了した。

また、地元水俣市の水俣資料館長の島田竜守氏が「水俣病の歴史と教訓、そして今の水俣に学ぶ」と題し、「本来、自然に恵まれた風光明媚な町で生じた公害被害について、歴史と時代や地域の背景、健康被害に対する差別や偏見、今もなお被害に苦しむ現状などに背を向けるのではなく、命・環境を大切にする大きな糧として未来を築いていかなければならない。」と、講演した。

翌日は、「食の安心・安全・安定をめぐる」の分科会に参加し、管理栄養士で熊本県立大学非常勤講師の江藤ひろみ氏、環境保全型農業を営む(有)肥後あゆみの会代表の澤村輝彦氏、グリーンコープ生協くまもと理事長の高濱千夏氏、広島県世羅町立小学校栄養教諭の福間知美氏が、生産者、販売者、消費者の立場から、日頃の活動を通じてそれぞれ報告され、どこまでが安全な食材なのかとの疑問が深まる中で、全日程を終了した。

労福協 事務局長 上野貞彦

全国会館協 2017 年度第 1 回幹事会

全国労働者福社会館協議会(全国会館協)は、9月の定期総会後初の幹事会を会員会館である広島市の「ワークピア広島」において開催し、5名の役員全員が出席した。

中塚宗浩会長(中部ブロック会長)が、「労働福祉のために設置された会館の利用については、中央労福協に引き続き要請していくとともに、定期総会での資金調達や公益目的支出計画に対する意見について議論を重ねていきたい。」と挨拶して始まり、石井清貴事務局長(東部ブロック代表)からの事務局報告後、各ブロック代表の順次報告と並行して、ブロックからの要請事項、質問事項や会員会館状況について意見交換をし、今後の活動に反映させていくこととした。

金沢地域 LSC

落書き清掃ボランティア



金沢LSC 落書き清掃

金沢地域 LSC は、10月21日(土)に昨年に引続きボランティア団体「金沢を美しくする会」と合同で、金沢市内中心街の片町・堅町・柿木島周辺にて、参加者16名を3班に分けて、落書き消しやシール剥しの清掃作業を行った。

今回は内2班が、ペンキにしていたずら書きされた壁やブロック塀に上塗りして消す作業を行った。作業後の出来映えに飲食店店主から「綺麗になった。」と感謝いただいた。

10月29日(日)に開催を控える第3回金沢マラソンに向けて、「少しでも気持ちよく金沢の街中を巡ってほしい。」との思いを込め、2時間程度ではあったが額に汗して夢中になり清掃作業に励んだ。

金沢地域 LSC 事務局長 松浦政雄

加賀地域 LSC

第 26 回ソフトボール大会

加賀地域 LSC は、10月28日(土)「第26回加賀地域 LSC ソフトボール大会」を片山津ソフトボール場にて開催した。



実行委員からの開会宣言に続き、加賀市議会議員林俊昭氏の来賓挨拶の後、林議員の始球式にて試合が開始された。昨年は8チームによる大会でしたが、今年は急遽仕事が入り、メンバー不足などで4チームでの大会となった。

試合では、フェンス越えの特大ホームランや鋭い打球をキャッチしダブルプレーにするなど、どの試合も接戦で白熱した試合となり、参加者全員楽しんだ大会となった。開会式では募金をお願いし、来年3月に児童福祉事業として集まった募金を、加賀市に寄附します。結果は次の通り。



優 勝：月星製作所労働組合 A
 準優勝：大同工業労働組合
 3 位：村田機械労働組合
 M V P：濱 彩花(月星)
 ハッスルプレー賞：
 酢谷那枝(大同)、北 優作(村田)

錦城たかお祭

加賀地域 LSC は11月3日(祝・金)に毎年恒例行事の錦城学園「錦城たかお祭」に参加した。

たかお祭は、今年もたくさんの利用者や父兄、さらに一般の方の来場の下、九田園長先生の開会挨拶で始まり、錦城太鼓・いやさか一座・よさこい・錦城大学ダンスなど学園祭らしい活気のある雰囲気の中、大いに盛り上がった。加賀地域 LSC はバルーンアートとポップコーンとヨーヨー釣りのコーナーを設置し、学園祭の盛り上がりに一翼を担った。

ぶんちゃんの作るバルーンアートは毎年好評で、順番を待って自分の好きなバルーンを作っ

てもらっていた。またヨーヨー釣りは、自分の欲しい色を何度も狙い、釣り上げた時には満面の笑顔で、とても楽しそうだった。ポップコーンも好評で、用意されたコーンは早々となくなった。



お楽しみ抽選会終了後、14:30に閉会式が行われ、無事に学園祭を終えることが出来た。今後も福祉活動を通じて地域貢献と活動の輪を広げ、アピールして行きます。

第29回錦城学園生招待ボウリング大会

毎年、恒例の錦城学園の利用者を招いたボウリング大会を、今年もたくさんの参加のもと、11月13日(月)百万石リゾートレーンで開催した。

最初に大会説明の後、合図とともにプレーに

移り、皆さんとても楽しそう、スコア画面にはストライクやスペアが出る度に、ガッツポーズや歓声、拍手が各レーンで沸いていた。



閉会式では、錦城学園三富部長より「現在学園利用者の年齢も高くなり、平均年齢は40歳半ば。スポーツといっても限られる中で、みんなボウリング大会を楽しみにしている。」とお礼と感謝のお言葉の後、加賀地域LSC中村副会長より「学園祭・ボウリングと、今後もお力になれたらと考えています。今日はたくさんの皆さんに参加をいただき、本当に有難う。」とお礼の言葉で締めた。

最後に担当の桂谷先生の掛け声で参加者から「有難うございました。」と大きな声でお礼があり、皆さんが本当に楽しんでいたと感じ、LSCスタッフ一同、ボランティア活動として、内容のある有意義な一日であった。今後もLSCとして地域貢献活動をアピールして行きます。

加賀地域LSC 事務局長 御館 啓太

勤 体 協

第51回県勤労者秋季体育大会

《ソフトボール県決勝大会》

11月5日・津幡運動公園ソフトボール場

①黒龍軒 ②DZ シャークス ③プレイヤーズ、相球会

《第17回クライミング大会》

11月5日・金沢市の医王山スポーツセンター

◇男子

▷一般

①柴田将義(金沢)

▷シルバー

①南川光生(野々市) ②本谷賢門(白山)

▷ゴールド

①中島昭二(金沢) ②山本永夫(金沢) ③林昭男(白山)

◇女子

▷一般

①中島亜希(金沢) ②中野穂菜(金沢)

③畑中安由美(野々市)

▷シルバー

①南川聖子(野々市) ②志村典子(野々市)

③田中弥生江(野々市)

▷ゴールド

①岡田美智江(野々市) ②中山外喜子(野々市)

③中田豊美(野々市)

◇オープン

▷ジュニア男子

①丸山亮(金沢)

▷ジュニア女子

①本谷佳乃子(白山) ②吉田麗奈(金沢)

《卓球七尾大会》

11月12日・七尾市中島体育館

◇男子

▷硬式

①カジグループ ②よしおけんた倶楽部

③コマツ、RATEL

▷ラージ

①档の会 ②白山クラブA ③金ヶ崎公民館、白山クラブB

◇女子

▷硬式

①NOTO ヤンキース侍 ②NOTO ヤンキース輝

③珠姫、はるもに

▷ラージ

①ななおクラブA ②チームかがやき

③ななおクラブB、七尾スターズ